

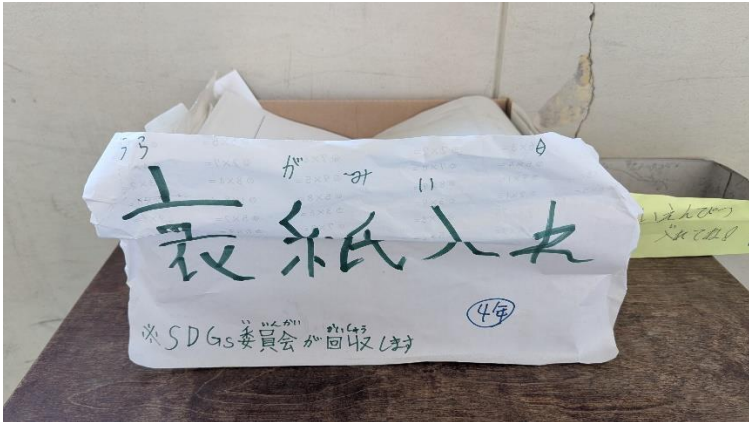
■今年度の活動内容設定時に参考とした「他校の環境に関する取組」
特になし

取組 テーマ	取組目標	具体的な活動内容		担当者	活動 主体	取り組んだこと、その実績	１年を振り返って
身近な環境問題について知り、自分達でできる事をやってみる。	私たちにできるSDGs ②飢餓をゼロに ⑦エネルギーをみんなに、そしてクリーンに ⑪住み続けられる街づくり ⑭海の豊かさを守ろう ⑮緑の豊かさを守ろう	1	SDGs：②と⑤ 畑づくりや野菜の収穫に挑戦する。	仲よし級担任、委員会担当	仲よし級・栽培委員会	1、栽培委員会では野菜や花を育て、仲よし級では季節ごとの野菜を育てた。仲よし級で収穫したさつまいもや大根を給食場で調理してもらい、「さつまいもとリンゴのマフィン」や「汁物」などに活用した。自分たちで育てた野菜の味を全校で共有することができた。 栽培委員会の野菜は少量だったため、それぞれ持って帰って家庭で食べてみる活動に変更した。 2、一人一鉢で育てた野菜を家に持ち帰り、家庭で調理してもらった。親子で野菜作りと収穫を楽しむ機会を作ることができた。 3、５年生ではSDGsの取り組みとして、ビーチクリーンをして、海岸のごみの多さや海の環境問題について考え、発表に活かすことができた。 4、環境委員会では、委員会活動でピオトープ（通称 カエル池）清掃を行うことができた。 5、SDGs委員会を中心にゴルフ場と連携して「短くなった鉛筆回収活動」に取り組んだり、「裏紙の回収と再利用の呼びかけ」に取り組んだりした。委員会の児童らが放送で呼びかけたり、各クラスをまわって呼びかけたりした。 ５年生は、サステナブルについて学習をした。集めたペットボトルキャップでゴミ箱を作り、さらにサステナブルについて考えを深めることができた。 6、委員会で落ち葉拾いに取り組むことができた。 7、委員会で節水・節電をポスターで呼びかけた。	【取組の評価】 ☒ 達成できた ☐ ほぼ達成した ☐ 達成できなかった 【理由】 昨年度から取り組んできている活動を今年度も引き継いで行うことができた。また、一つの活動に対して、少しずつ関わる人数が増えてきている。 【今後の課題】 SDGsへの活動に興味や関心を持つ児童を増やし、学校では何ができるのかを考え、アイディアを出し合っていきたい。また、活動に関わる人（職員や保護者）を広げ、多方面からのアプローチができるようになれば良いと考えている。 【次年度への引継ぎ事項】 日々の学習活動の中で予定変更はつきものだが、継続的に取り組むもの、学習に沿って新たな取り組みとして増えるものがある。 いずれにしても、エコ（SDGs）関連の意識を持って活動を設定し、その意義について指導していきたい。
		2	SDGs：②と⑤ 一人一鉢栽培の実施。	仲よし級担任	仲よし級		
		3	SDGs：⑦と④ 海岸を綺麗にして、環境問題に取り組む。 「ビーチクリーンに挑戦」年２回 「ポスターでの呼びかけ」	３年生担任	３年生		
		4	ピオトープを綺麗にして、自然の豊かさを守る。	委員会担当	環境委員会		
		5	SDGs：⑦と⑤ 「短くなった鉛筆回収活動」に参加する。 「ペットボトルキャップの回収」に取り組む。	各学年担任	SDGs委員会・全校児童 ５年生		
		6	SDGs：⑦と⑪ 「落ち葉拾い」		環境委員会		
		7	SDGs：⑦と⑪ 「節水・節電の呼びかけ」	委員会担当	環境委員会		

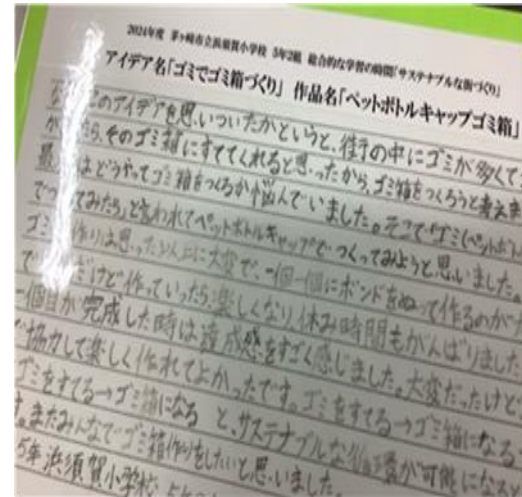
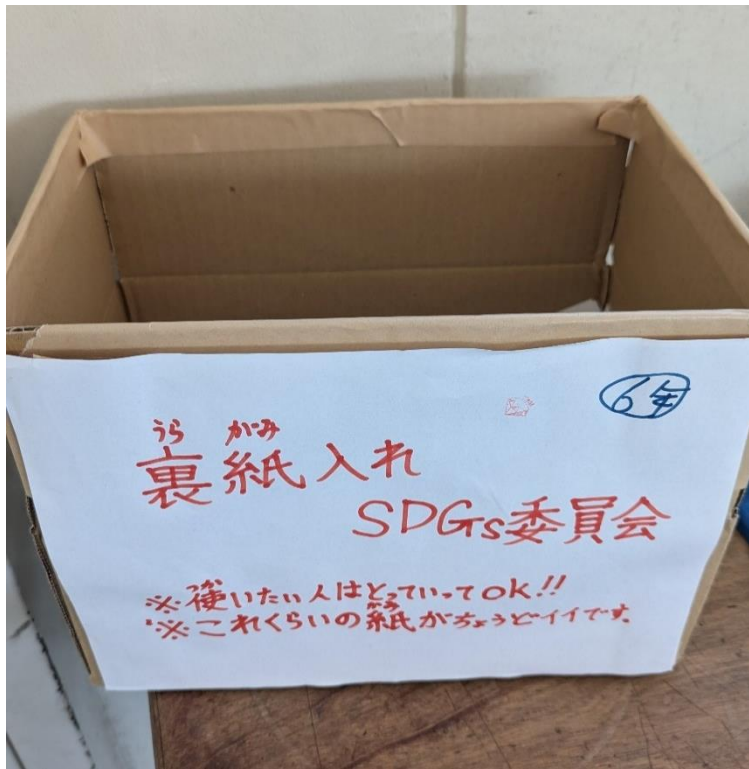
●写真等の記録：



昨年に引き続きゴルフリンクスさんとの協力の下、短くなった鉛筆の再利用を行っています。



裏紙利用を促すため、あえてきれいな紙を使っていません。



5年生が作ったペットボトルキャップのごみ箱。ごみを捨てる→ごみ箱になる→ごみを捨てるという循環型のごみ箱を作ることができました。市長室にも置いて紹介してもらえることになりました。

●学校長（推進責任者）によるコメント

【学校長名】

青柳 和富

【今後の方向性について】

「未来をひらく浜小の子」育成に向け、本校では、子どもが自分からうごく授業づくりに取り組んでいる。本校の委員会活動には、「SDGs委員会」や「カエル池委員会」があり、それらの委員会を中心に子どもたちが地球環境について考え、SDGsへの取り組みも発信している。今年度は子どもたちが主体となる委員会活動を目指して取り組んだ。その結果、子どもたちのアイデアが随所に見られるようになった。また、放送や発表など、発信する場が多様になり、活動への呼びかけも豊かになった。併せて、今年度は5年生が湘南ベルマーレと提携し、総合の授業でサステナブルについて考えた。学んだことを受けて、自分たちができることを一人ひとりが考える良いきっかけとなった。学校だけでなく地域の方とも連携してSDGsに取り組んでいければと願っていたことが一つの形となってきている。今後も SDGs への取り組みをさらに充実させていきたいと思っている。